

第1回「山の日」記念全国大会
実施計画 骨子



第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

第1回「山の日」記念全国大会の概要

1 大会の名称

第1回「山の日」記念全国大会

2 大会の期間

平成28年8月10日(水)から11日(木)祝日まで 2日間

3 大会の推進体制

(1) 主催者

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会(平成28年1月8日設立)

特別職：名誉顧問 谷垣禎一((一財)全国山の日協議会会長)、顧問 衛藤征士郎(超党派「山の日」議員連盟会長)・安藤宏基((一財)全国山の日協議会副会長)、名誉会長 阿部守一(長野県知事)、会長：菅谷昭(松本市長)

構成員：(一財)全国山の日協議会、長野県、松本市、上高地町会、警察庁、消防庁、文部科学省、スポーツ庁、林野庁、国土交通省、観光庁、環境省、上高地観光旅館組合、北アルプス山小屋友交会、松本市アルプス観光協会

(2) 協賛(平成28年7月14日現在)

(株)長野銀行・手島泰六後援会・(株)finetrack・(株)モンベル・日清食品ホールディングス(株)、富士電機(株)・松本信用金庫・キッセイ薬品工業(株)・(株)八十二銀行・(一財)休暇村協会・アルピコホールディングス(株)・清水建設(株)・損害保険ジャパン日本興亜(株)・東京医科大学・博報堂アイ・スタジオ、(株)カモシカスポーツ・(株)王滝・慈泉会 相澤病院・セイコーエプソン(株)・大雪渓酒造(株)・JR東日本・(株)信州芽吹堂・郵便局・JA松本ハイランド・信州大学・JA松本ハイランド・日本費用補償少額短期保険(株)・味の素(株)・イオンリテール(株)、日本山岳救助機構(同)・(有)丸山菓子舗・抱生会 丸の内病院・(特非)北アルプスブロードバンドネットワーク・(株)好日山荘・クラブツーリズム(株)・東京海上日動火災保険(株)、長野県信用組合・(株)竹中工務店・松本大学・松本石匠組合・中部電力(株)・NTT東日本・(株)井上・キッセイコムテック(株)・中日本エクシス(株)・(研)森林総合研究所・松塩筑安曇野温泉協会・(株)エイコー・(一社)長野県林業コンサルタント協会・キリンビールマーケティング(株)長野支社・(株)わかさ出版・(一財)日本森林林業振興会長野支部・国有林観光施設協議会・(株)ヤマレコ・ハシバテクノス(株)・(株)総合印刷・長野県酒造組合・松本ガス(株)・(有)白船荘新宅旅館・JAあづみ、他個人9者 計69者

(3) 後援(平成28年7月14日現在)

外務省、総務省、厚生労働省、法務省、財務省、経済産業省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会

4 大会の理念

- ① 山の日制定趣旨(山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する)を国内外に浸透を図ること
- ② 山に関する歴史や文化、環境、観光、安全、教育等の「山と人」との関わり方を見つめ直し、様々な課題の解決につなげる契機とするとともに、次代を担う子どもたちと一緒に「山の未来」を創造する第一歩とすること
- ③ 世界で初めて「山」を対象とした祝日であることを国内外へ発信するとともに「山」に関する国内外の幅広いネットワークを構築する機会とすること

5 大会のテーマ

山と共に～人と自然がつながる社会の実現へ～ 長野県長野日本大学中学校 吉原久瑠実さん作品

6 式典行事計画 招待者(候補)等

参加者区分		想定規模	
		記念式典	祝祭式典
特定招待者	<p>山に関係の深い各国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス、フランス、ドイツ、オーストリア、スイス、イタリア、アメリカ、カナダ、中国、韓国、ネパール、オーストラリア 等 <p>長野県・松本市海外姉妹都市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河北省、ミズーリ州、グリンデルワルト、ソルトレイクシティ、カトマンズ、廊坊市 <p>国務大臣 国会議員</p>	10～20人	5～10人
特別招待者	<p>国会議員（山の日議連関係者、長野県選出）</p> <p>松本市姉妹（友好）都市の代表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市、姫路市、高山市、金沢市、札幌市、鹿児島市 <p>地方6団体の代表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会 	70～100人	15～30人
一般招待者	<p>国機関</p> <p>県・市の観光大使</p> <p>次期開催県知事</p> <p>次期開催市町村長</p> <p>協賛企業の代表者</p> <p>実行委員会構成機関が推薦する者</p>	100～130人	30～60人
	<p>県議会議員</p> <p>市議会議員</p> <p>県内市町村長</p> <p>協賛企業の関係者</p> <p>地元（地域）関係者 等</p>	120～150人	150～200人
一般公募		—	500～600人
小 計		300～400人	700～900人
本部員及び協力者	<p>実施本部員（主催者等）</p> <p>運営要員等</p>	100人程度	
開催規模(想定)全体		400～500人	800～1,000人

7 行事概要等

日 時		場 所	行事概要	備 考
8 月 10 日	10:00~	松本城公園	信州四方山祭り(仮称) オープニングセレモニー	会長他 一般参加
	12:30 ~ 14:00	あがたの森講堂	「山の日」制定記念国際フォーラム	山に関係の深い各 国、県内高校生 他
	15:00~	ホテルブエナビスタ	歓迎レセプション	特別招待者 (100人)
8 月 11 日	9:00 ~ 10:45	上高地バスターミナル	記念式典 ~山に親しむ機会の創出と発信~	招待者 (400~ 500人)
	14:30 ~ 16:30	まつもと市民芸術館	祝祭式典 ~山の日誕生の祝祭と恩恵への感謝~	招待者・一般公募 (800~1,000人)
大会期間中		松本市街地及び上高地	信州四方山祭り(仮称) (音楽・講演・展示 等)	一般参加

8 スケジュール

城：松本城公園、文：あがたの森文化会館、H：ホテルブエナビスタ、芸：まつもと市民芸術館
BT：上高地バスターミナル、梨：上高地小梨平キャンプ場、徳：徳沢キャンプ場

8月10日(水)								
上高地会場				日時	松本市街地会場			
式典行事	信州四方山祭り	招待	一般		式典行事	信州四方山祭り	招待	一般
				10:00 10:30		◇オープニング セレモニー(城)		○
	◇トークイベン ト・音楽演奏 (梨) ◇ブース出展 (IC/VC)		○	11:00 16:30		◇トークイベン トクイズ大会 ◇ゆるキャライベ ント ◇ブース出展 ◇音楽演奏 (城)		○
				12:30 14:00		「山の日」制定記念 国際フォーラム(文)	○	△
				15:30 16:30		歓迎レセプション (H)	●	
	トークイベン ト(徳)		○	17:00 18:00				
8月11日(木)祝日								
上高地会場				日時	松本市街地会場			
式典行事	信州四方山祭り	招待	一般		式典行事	信州四方山祭り	招待	一般
記念式典 (BT)		●		9:00 10:45		◇記念式典生中継 (城)		○
	◇トークイベン ト・音楽演奏 (梨) ◇ブース出展 (IC/VC)		○	11:00 14:30		◇トークイベン ト ◇ゆるキャライベ ント ◇ブース出展 ◇音楽演奏 (城)		○
				14:30 16:30		祝祭式典(芸)	●	●

(凡例)招待・一般区分：●：入場制限あり(事前登録)、△：先着

上高地記念式典

○山の日制定趣旨「山に親しむ機会を得る」ことを雄大な上高地の自然の中で具現化
○世界で初となる「山」を対象とした祝日として「山」の魅力・価値を国内外に向けて発信
○次代を担う子どもたち共に「山の未来」を創造する第一歩となる機会

まつもと市民芸術館祝祭式典

○山の日制定の趣旨「山の恩恵に感謝する」ことを参加者と共に共感
○山の恩恵を見つめ直す機会とし、感謝の気持ちを様々な形で表現
○子どもたちや次期開催地等に山の日制定の趣旨や第1回大会理念等を継承

区分	晴天時プログラム(Aパターン)			
	時間	プログラム	内容	
開場	8:00	招待者入場	■プログラム案内等インフォメーション	
	～	招待者入場完了・着席完了		
		登壇者登壇～紹介	■登壇者のご紹介	
		招待者紹介・入場(ようこそ山の国へ)	■各国大使館の皆様等の入場・紹介	
プロローグ	9:09	さあ「山」へ行こう(映像上映)	■上高地をはじめ信州の山々の自然や四季の姿と歴史を通じて、我が国の「山の魅力・山の価値」と「山と人の歴史・文化」を世界に紹介する映像上映	
～	9:12	はじめてまして「山の日」	■「山の日」制定経緯と制定趣旨の説明	
	9:24	はじめてまして「山の日」	■「山の日」制定経緯と制定趣旨の説明	
式典	～	9:30	「山の日」はじめのことば	
		国歌斉唱		
		「山の日」誕生あいさつ		
		主催者あいさつ	■「山の日」誕生記念、主催者及び歓迎の言葉 等	
		歓迎あいさつ		
		「山の日」制定記念音楽演奏	■世界的な音楽家集団による、「山の日」制定を祝う音楽演奏 曲目:「ローマの謝肉祭」	
		伝えたい「山への想い」	■各界識者による山への想いを発信し、山との関わりの多様さと国を挙げた祝日を表現	
		「山と共に」未来への誓い	■「山の日」の制定を機に山と人との関係を見つめ直す大会理念を踏まえた「山の未来」への宣言	
		「山の日」結びのことば		
		10:20	山への第一歩	■「山に親しむ・山への第一歩」を表現する音楽演奏
エピローグ	10:31	終演		

区分	晴天時プログラム(Aパターン)			
	時間	プログラム	内容・備考	
プロローグ	12:50	観覧参加者入場開始	■プログラム案内等インフォメーション	
	～	14:30	記念式典映像上映	■上高地会場の記念式典の映像
		14:30	参加者入場完了～着席案内	
	～	式次第説明 登壇者紹介		
プロローグ映像		■暮らしに関わる「山の恩恵」の映像(「山の恩恵」に感謝を捧げ、未来につなぐ)		
～	15:00	はじめてまして「山の日」	■「山の日」制定趣旨と経過の説明	
	15:00	開会の言葉		
式典	～	国歌斉唱		
		あいさつ	■主催者及び歓迎の言葉	
		歓迎あいさつ		
		「山の日」歌表彰式	■全国山の日協議会が公募した「山の日」の歌の歌詞から最優秀賞等を表彰	
		登壇者観覧席へ移動		
		おめでとう「山の日」		
		おめでとう「山の日」①(「山を魅せる」)	■「山の日」制定を祝うパレエの上演	
		おめでとう「山の日」②(山に授かる)	■水や木等山の恩恵を活かしながら活躍している方々からの魅力や価値の発信	
		おめでとう「山の日」③(山と共に、未来へのハーモニー)	■次世代を担う子供達による「山の未来」を唄う歌	
		リレーセレモニー(つなげてゆこう「山の未来」)	■「山の日」制定趣旨や第1回「山の日」記念全国大会理念の次期開催地への継承	
閉会の言葉				
エピローグ	15:52	エピローグ		
～	エピローグ	■「山の日」制定を祝い「山の未来」に向けて、「山と関わる機会を創出」する行事を開催		
	16:16	終演		

区分	荒天時(Bパターン) ※上高地中止			
	時間	プログラム	内容・備考	
プロローグ	12:50	観覧参加者入場開始	■プログラム案内等インフォメーション	
	～	14:30	記念式典映像上映	■山岳観光映像など
		14:30	参加者入場完了～着席案内	
	～	式次第説明 登壇者紹介		
プロローグ映像		■暮らしに関わる「山の恩恵」の映像(「山の恩恵」に感謝を捧げ、未来につなぐ)		
～	15:00	はじめてまして「山の日」	■「山の日」制定趣旨と経過の説明	
	15:00	開会の言葉		
式典	～	国歌斉唱		
		「山の日」誕生あいさつ		
		主催者あいさつ	■山の日誕生記念、主催者及び歓迎の言葉 等	
		歓迎あいさつ		
		「山の日」歌表彰式	■全国山の日協議会が公募した「山の日」の歌の歌詞から最優秀賞等を表彰	
		伝えたい「山への想い」	■各界識者による山への想いを発信し、山との関わりの多様さと国を挙げた祝日を表現	
		「山と共に」未来への誓い	■「山の日」の制定を機に山と人との関係を見つめ直す大会理念を踏まえた「山の未来」への宣言	
		リレーセレモニー(つなげてゆこう「山の未来」)	■「山の日」制定趣旨や第1回「山の日」記念全国大会理念の次期開催地への継承	
		閉会の言葉		
		おめでとう「山の日」		
行事	～	おめでとう「山の日」①(「山を魅せる」)	■「山の日」制定を祝うパレエ	
		おめでとう「山の日」②(山に授かる)	■水や木等山の恩恵を活かしながら活躍している方々からの魅力や価値の発信	
		おめでとう「山の日」③(山と共に、未来へのハーモニー)	■次世代を担う子供達による「山の未来」を唄う歌	
エピローグ	16:16	エピローグ		
～	エピローグ	■「山の日」制定を祝い「山の未来」に向けて、「山と関わる機会を創出」する行事を開催		
	16:40	終演		

10 記念式典(上高地バスターミナル)の所要事項

(1) 服装について

ア 趣旨

第1回「山の日」記念全国大会の記念式典を長野県松本市上高地で開催するにあたり、主催者自ら「山行の服装」で出席し、御臨席いただく皆様にも依頼する。

イ 「山行の服装」の目的

- ① 「山の日」の制定趣旨(山に親しむ機会を得る)を記念式典への参加者全体で表現
- ② 屋外会場であることから、天候の変化への対応が可能な服装
- ③ 全国有数の山岳高原観光地であり、夏のトップシーズンであるため、一般観光客の入込が相当量見込まれ、こうした周辺環境との一体感を持たせること

ウ 「山行の服装」の目安

服 装 の 目 安		
山 の 服 装	帽 子	・帽子(着用は任意) ただし、式典中は脱帽を求める場合があるため、主催者からのアナウンスに沿っていただくこと
	上 着	・長袖の屋外向けの素材のもの ただし、半袖(ポロシャツ等の襟付きのもの)も可とし、その場合、天候の変化に備え、中間着を用意することを推奨 ・雨具については、事務局で用意 ただし、ステージ上は雨除け用の屋根を付帯
	ズボン	男性は長ズボンを推奨 ただし、ひざ下の長さのハーフタイプのものも靴下をはくことで可(ひざ上の短パンは不可) 女性は長ズボンのほかスカートタイプのものでも可 ただし、日焼け・虫よけ等の理由から肌の露出はできるだけ控えること
	靴	靴(歩きやすいスニーカー、トレッキングシューズなど)

注意事項：実際に登山はしませんので、高機能である必要はありません。
式典会場には、安全面からストックの持ち込みはできません。

(2) 御招待する皆様に着用していただくコサージュについて

ア 趣旨

今大会のテーマである「山と共に～人と自然がつながる社会へ～」の実現に向け、上高地の自然を表す野生植物の一つである「ニリンソウ」を、信州の伝統工芸の「飯田水引」を用いてコサージュを制作し、記念式典に御招待する皆様に装着していただき、会場全体にニリンソウの美しい群生の様子を演出するとともに、参加者の意識の高揚を図る。



イ 「飯田水引」を採用したコサージュに込める思い

水引の語源には「百花が水に引かれていくような美しさ」という一説があり、梓川に代表される、山の恵みである清流と可憐に咲くニリンソウをデザインした。また、水引は”結ぶ“という大きなテーマを持っており、大会のテーマである「山と共に～人と自然がつながる社会の実現へ～」を表現し、大会を象徴する記念品の一つとする。



11 式典行事計画

(1) 歓迎レセプション

ア 趣 旨

山岳県信州・岳都松本ならではの「山の恵み」を振る舞い、歴史と文化を実感していただける演出を行うとともに、式典への招待者を歓迎し、参加者の懇親を深める場としてのレセプションを開催する。

イ 日 時

平成 28 年 8 月 10 日(水) 15:30~16:30

ウ 場 所

ホテルブエナビスタ (松本市内) 3 階 グランデ

エ 出席者

山に関係の深い各国大使館、国務大臣 (関係省庁)、県・市の山に所縁のある識者、山の日制定功労者(山の日議連・全国山の日協議会)、協賛企業 (頂上・8 合目協賛)、次期開催地関係者、県・市議会関係者、山岳関係団体、地元代表者、主催者 (県知事・市長・実行委員会関係者等) 100 名程度



【グランデ (ホテルブエナビスタHPより)】

オ 提供メニュー

(ア) 取扱い食材

信州 S P F 豚、信州黄金シャモ、信州プレミアム牛肉、シカ肉、ながいも、セルリー、安曇野たまねぎ、稻核菜、保平蕪、牧大根、野沢菜、すんき、エノキタケ、ブナシメジ、ヒラタケ、風さやか、信州サーモン等

(イ) ドリンク

県内の著名な日本酒(県酒造組合)

県内の著名なワイン：松本・塩尻・安曇野地域を中心として選定

県内のクラフトビール：松本ブルワリーなど

県内産果樹を使用したジュース等

(ウ) メニュー案

信州サーモン・岩魚等の造り、信州ジビエなどの焼き物、山ぶどう葉寿司 (乗鞍の郷土食)、蕎麦ガレット、茸汁、信州伝統野菜の香の物、季節のフルーツカクテル (ナガノパープル、黄華、スイカなど)

(エ) その他

品川聖さんによるヴィオラ・ダ・ガンバの演奏



品川 聖 (しながわ ひじり) 1976年東京生まれ。3歳よりヴァイオリンを始め。4歳より桐朋学園大学附属子供のための音楽教室入室。高校時代にバロック音楽への興味が募り、バロック・ヴァイオリンを若松夏美氏に、ヴィオラ・ダ・ガンバを中野哲也氏に師事。1999年桐朋学園大学音楽学部古楽器科(ヴィオラ・ダ・ガンバ専攻)卒業後、ベルギーのブリュッセル王立音楽院に留学。ヴィオラ・ダ・ガンバをヴィーラント・クイケン氏に師事。2003年ディプロマを取得し首席で卒業。2001年ソロ・デビュー以来、ソロを中心に各地でコンサート活動を展開。特に2003年春のリサイタル「華麗なるフランス・ヴィオールの技」は好評を博す。2006年「マラン・マレ生誕350年記念フェスティバル」では、特別演奏会に出演。また2006年より「J.S.バッハ:ガンバ・ソナタ全曲」のコンサートを毎年開催している。今までに3枚のソロCDをリリース。東京古典楽器センター講師。日本ベルギー学会会員および日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会会員。2011年からライ・ハスロー氏にモンゴルの馬頭琴を師事。国や時代やジャンルにとらわれない独自の音楽活動を展開。

(2) 「山の日」 制定記念国際フォーラム

ア 趣 旨

「山の日」制定を記念し、世界で初めて「山」を対象とした祝日の誕生を機に日本の「山」の魅力・価値等を国内外に向けて発信するため、第1回「山の日」記念全国大会記念式典に御招待する山に関係の深い各国大使館及び国の関係者が集い、誰もが山の日制定の趣旨である「山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する」ことができる山岳ツーリズムの在り方について意見交換を行い、新たなネットワークの構築を進める。

イ 日 時

平成 28 年 8 月 10 日(水)
午後 0 時 30 分から午後 2 時まで

ウ 場 所

松本市あがたの森文化会館(松本市県 3-1-1)

エ 参集範囲

- 山に関係の深い各国大使館、国機関、山岳ユニバーサルツーリズムに関係する団体、県、市
- 大学生、高校生、観光事業者、NPO代表者、メディア関係者
- 一般傍聴(先着順)

オ テーマ

山岳ユニバーサルツーリズムの推進

カ 会議行程(案)

時間	内 容	備 考
11:30	受付	
12:30	開会	登壇者御紹介
12:40	基調講演	ユニバーサルツーリズムの先進事例等
13:00	ユニバーサルツーリズム事例報告	各国大使館コメント 各界識者による提言
13:40	意見交換	
13:50	取りまとめ	
14:00	閉会	



キ その他

- (ア) あがたの森文化会館で開催することで、旧制松本高等学校時代からの歴史の薫り高い西洋風木造建築の校舎で開催することで、日本の山の教育文化に触れながら国際的な話題と調和させ、今大会の理念の一つである国内外への発信を行う。
- (イ) 大学生・高校生に参加してもらい、海外の「山」に関する情報に直接触れることで、これからの進路や世界観の醸成に貢献する。

12 記念行事計画

(1) 記念行事の名称

信州四方山祭り(しんしゅうよもやままつり)

(2) 趣旨

「山の国 信州」は、県歌「信濃の国」に謳われるとおりに「四方に聳ゆる山々」に囲まれており、日常的に「山」を眺め、「山」に包まれて暮らしている。

今大会の理念に掲げる山の日制定趣旨を広く浸透・定着を図っていくために、山と共に生きる私たち信州人として、国内外から長野県松本市に訪れる皆様に、信州の山の魅力や価値を、日常的な目線でわかりやすく伝えていくことを目的に、音楽や講演など様々な媒体を活用し祝祭行事を開催する。

(3) 会場別開催概要

ア 信州四方山祭り in 上高地

(ア) 日 時

平成 28 年 8 月 10 日(水) 11 時～20 時 45 分

平成 28 年 8 月 11 日(木) 祝日 11 時 30 分～15 時 30 分

(イ) 場 所

小梨平キャンプ場、徳沢キャンプ場

(ウ) 予定観客

式典招待者及び関係者 100 人、一般来場者約 200 人(小梨平キャンプ場)

徳沢キャンプ場、徳澤園、徳沢ロッジ利用者約 150 人

(エ) スケジュール

日 時	区 分	内 容	場 所
10 日(水) 11 時～14 時	信州四方山祭り in 上高地	鈴木啓助教授講演 ヨーデル北川桜コンサート	小梨平
10 日(水) 19 時 45 分～20 時 45 分	トークショー	小林千穂トークショー	徳 沢
11 日(木) 11 時 30 分～ 15 時 30 分	信州四方山祭り in 上高地	品川聖コンサート 田部井淳子講演 芹洋子コンサート クラシックコンサート 小林綾子&小林千穂トークショー	小梨平

イ 信州四方山祭り in 松本城

(ア) 日 時

平成 28 年 8 月 10 日(水) 10 時～16 時 30 分、11 日(木) 祝日 9 時～15 時

(イ) 場 所

松本城公園

(ウ) 予定観客

祝祭式典招待者及び関係者 1,000 人、一般来場者約 10,000 人(松本城観光客)

(エ) スケジュール

時間	項 目	備 考
10:00	10 日 ◇オープニングセレモニー	10 日イベント概要 ・幕開けのアルプホルン演奏 ・「山の日」の趣旨説明と戴冠式
10:30	11 日 ◇記念式典生中継	・主催者あいさつ(実行委員長) ・記念切手、記念硬貨の贈呈
11:00	◇トークイベント ◇ゆるキャラプチサミット in 松本城 ◇ビンゴ大会等 ◇山の音楽祭	・講演者：未定 ・アルクマ(県)、アルプちゃん(松本市)、やまっち(山形村)、あずみーず(安曇野市)、おおまぴょん(大町市)、匂ちゃん(長野県)、村男Ⅲ世(白馬村)など
16:30		山や山の恵みに関係するゆるキャラに出演予定

13 輸送、警備及び地域対応計画

(1) 輸送計画

ア 輸送方針

松本市内～上高地間の安全かつ円滑な通行を確保し、招待者の区分毎の輸送計画を作成する。また、上高地会場に輸送管理本部を設置し、運行状況の管理等を行い、長野県警察本部等の関係機関の協力を得て必要に応じた交通整理・規制を実施する。

イ 輸送ルート

松本市内～上高地バスターミナル間は国道 158 号を主な輸送ルートとし、バックアップルートとして、上高地～高山駅ルート、上高地～木祖村～権兵衛トンネル～伊那 I C ルートを計画する。

ウ 輸送車両

招待者の区分ごとに、招待者専用車・借上げ車・招待者専用バスを用意する。

エ 駐車場

上高地内では、招待者専用車及び警備上必要となる車両等の駐車場を確保し、松本市内では、まつもと市民芸術館周辺の民間駐車場等を活用する。

会場	関係者区分	使用車両等	同乗者	台数	備考
上高地会場	特定招待者の要警護者 特別招待者の要警護者	専用車(相手方持込み)	随行者	10台×2日	
	上記以外の特定招待者	専用車(事務局準備)	随行者	5台×2日	
	特別招待者の輸送配慮者 一般招待者 A・B の輸送配慮者	借上げ車(事務局準備)	随行者	20台×2日	
	上記以外の特別招待者 上記以外の一般招待者 A・B	招待者専用バス (事務局準備)	添乗員 随行者	14台×2日	輸送後、松本市内営業所へ戻る
	主催者等	主催者専用バス (事務局準備)		3台×2日	輸送後、松本市内営業所へ戻る
	事務局、各省庁関係車	事務局、各省庁持込み		25台×2日	
	警備・規制関係者	警備車両等		35台×2日	
	式典・記念行事運営業者	トラック等		35台×2日	物資搬入用
	—	報道関係車両		30台×2日	
	—	山小屋・上高地の 物資運搬車両等		30台×2日	バスターミナル周辺車両の代替駐車場
		計			207台
松本市街地	特定招待者の要警護者 特別招待者の要警護者	専用車(相手方持込み)	随行者	10台	
	一般参加者	自家用車		300台	民間コインパーキングへ各自駐車
		路線バス等		—	松本周遊バス「タウンズニーカー」
	主催者等	主催者専用バス (事務局準備)		3台	
	出演者等	借上げ車(事務局準備)		3台	
	警備・規制関係者	警備車両等		30台	
	式典・記念行事運営業者	トラック等		30台	物資搬入用
	—	報道関係車両		30台	民間コインパーキングへ各自駐車
	計			406台	

(2) 警備計画

大会の円滑な運営を図るため、長野県警察本部等の関係機関と大会本部員が協力して会場警備・入場警備等を行うとともに、式典・祝祭式典会場では、金属探知機による持ち物検査等の入場者チェックを行う。

(3) 地域住民・観光事業者・観光客等への影響緩和対応計画

大会開催による交通規制等に伴う地域住民・観光業者・観光客等への影響を低減させるため、あらかじめ大会に関する情報発信及び地域での説明を行うとともに、事前の交通渋滞予測等の案内を行う。また、大会当日は、大会運営本部に問い合わせ受付担当を設け、情報発信の体制を整える。

14 第1回「山の日」記念全国大会実行委員会予算

平成28年1月8日～平成28年12月31日

収入合計 146,600,000 円

支出合計 146,600,000 円

【 収 入 】

(単位：円)

科 目	当初予算額	補正予算額	予算額計	内 訳	適 用
負 担 金	31,910,000	84,680,000	116,590,000	長野県 58,295,000 松本市 58,295,000	長野県・松本市負担金
協 賛 金	0	30,000,000	30,000,000	協賛各社 30,000,000	企業協賛・個人協賛 上高地町会500,000円 上高地観光旅館組合300,000円 北アルプス友交会200,000円 松本市アルプス観光協会100,000円
諸 収 入	10,000	0	10,000	利息等 10,000	預金利息等
合 計	31,920,000	114,680,000	146,600,000		

【 支 出 】

(単位：円)

科目	節 区分	当初予算額	補正予算額	予算額計	内 訳		説 明
事業費	実行委員会 運営費	1,240,000	11,260,000	12,500,000	報償費 500,000		講師謝礼
					旅費 2,000,000		実行委員、運営委員旅費
					需用費 500,000		消耗品、印刷製本費等
					役務費 4,000,000		協賛営業手数料
					委託料 4,500,000		大会記念誌作成委託料
					資料料及び印刷料 1,000,000		会場使用料等
	記念式 典費	4,700,000	69,300,000	74,000,000	報償費 4,500,000		演奏者、講演者、通訳等謝礼
					旅費 8,000,000		交通費、宿泊費
					需用費 8,500,000		式典準備等消耗品
					委託料 41,000,000		会場運営費、モニュメント制作費、中継放送費、実施設計委託料
					資料料及び印刷料 12,000,000		ホテル使用料、大型バス借り上料
	記念行 事費	0	19,900,000	19,900,000	報償費 1,200,000		学識経験者、通訳、司会者等謝礼
					旅費 300,000		交通費
					需用費 400,000		消耗品等
					委託料 18,000,000		レセプション、国際会議、音楽祭、展示会等委託料
	広報活 動費	19,840,000	5,160,000	25,000,000	需用費 5,000,000		イベント材料費、食糧費、ポスター・チラシ等印刷製本費、広報グッズ作成費
					広告費 15,000,000		テレビ番組制作、新聞・雑誌特集広報費、ポスター掲出費等
					委託料 5,000,000		HP制作・管理、シンボルマーク制作、プレスツアー等委託料
	事務費	5,840,000	8,360,000	14,200,000	職員手当 150,000		通勤手当 他
					共済費 50,000		労働保険 他
賃金 1,000,000						内業臨時職員 他	
旅費 4,000,000						普通旅費（国関係機関調整旅費、県関係事務連絡旅費、総会旅費、協賛旅費）	
需用費 2,000,000						事務用品、消耗品、ガソリン代 他	
役務費 1,000,000						通信料・郵便料、振込手数料	
資料料及び印刷料 6,000,000		自動車リース使用料、PC・カラー複合機他賃借料、インターネット使用料等					
予 備 費	予備費	300,000	700,000	1,000,000			
合 計		31,920,000	114,680,000	146,600,000			